

サステナビリティボンド（第3回無担保社債）のレポーティングについて

当社は、令和5年8月10日にサステナビリティボンド（第3回無担保社債）を発行いたしました。
本サステナビリティボンドの資金充当状況レポーティング及びインパクトレポーティングを以下のとおりご報告いたします。

サステナビリティボンド（第3回無担保社債）レポーティング（令和6年3月31日時点）

	グリーン適格プロジェクト	ソーシャル適格プロジェクト
項目	旅客鉄道輸送に資する鉄道車両以外の設備全般の維持・改修・新設	
内容	【環境負荷の低い旅客鉄道輸送に資する設備】 ・環境負荷が低い交通手段である鉄道運行を支える設備への投資 【環境負荷低減に向けた個別の取組（エネルギー使用の効率化）】 ・トンネル照明のLED化や、駅の空調機器等の省エネルギー性に優れた環境配慮型の機器への更新による、環境負荷の軽減 ・駅の空調機器等の中央監視システムの更新などを見据え、更なるエネルギー使用の効率化の実現に向けたBEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）導入の検討	【臨海副都心部の交通アクセスの確保】 ・効率的な大量輸送手段である鉄道による広域的な交通ネットワークの整備を通じて、内陸部の既成市街地との交通アクセスを確保 【安全・安定・安心輸送の確保】 ・バリアフリー法等に基づく、駅施設や鉄道関連設備整備により、お客様サービスの質的向上を実現 ・ホームドア ・エスカレーター ・駅建築物の改良・改修 など 【災害対策の取組強化】 ・首都直下地震等の大規模災害発生に備え、施設・設備の安全性をより一層高める ・高架橋等の耐震補強 ・浸水対策 など
資金充当状況	【りんかい線第二期区間建設時における既存投資のリファイナンス】 調達金額：80億円、充当金額：80億円（未充当金額0円）	
レポーティング	【りんかい線における輸送量あたりのCO₂排出量】 令和5(2023)年度実績：21 g-CO₂/人km※ ※電気事業者の排出係数（t-CO₂/KWh）は環境省が公表している令和4年度実績の係数を使用 https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/denki	【アウトプット】 ・りんかい線第二期区間建設時の20年以上前に実施した鉄道事業固定資産※に係る既存投資のリファイナンス 【アウトカム】 令和5(2023)年度りんかい線の乗車人員：76,736千人 【インパクト】 安全・安定・安心輸送の確保 ※主要な鉄道事業固定資産については、当社サステナビリティファイナンス・フレームワーク参照 https://www.twr.co.jp/enterprise/tabid/372/Default.aspx

【参考：サステナビリティボンド（第3回無担保社債）の発行概要】

1. 社債の名称	東京臨海高速鉄道株式会社第3回無担保社債 （社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）
2. 社債の総額	80 億円
3. 各社債の金額	1 億円
4. 年限	10 年
5. 利率	年 0.952%
6. 払込期日	令和 5 年 8 月 10 日
7. 償還期限	令和 15 年 8 月 10 日
8. 資金使途	りんかい線第二期区間建設時における既存投資のリファイナンス
9. 取得格付	AA（株式会社日本格付研究所）
10. 主幹事証券会社	みずほ証券株式会社（事務） SMBC日興証券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 野村證券株式会社
11. ストラクチャリング・エージェント	みずほ証券株式会社
12. 第三者評価機関	株式会社格付投資情報センター（R&I）
13. 財務代理人	株式会社みずほ銀行

※当社のサステナビリティファイナンス・フレームワーク及び株式会社格付投資情報センター（R&I）によるセカンド・パーティ・オピニオンについては、当社ホームページをご覧ください。

サステナビリティファイナンス・フレームワーク

<https://www.twr.co.jp/enterprise/tabid/372/Default.aspx>

セカンド・パーティ・オピニオン（R&I）

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>